夕刊
磐城新聞
四月二十五日發行
日曜祭日翌日休刊

木曜文藝

歌帖抄
久満男　三首

○印旛沼　夕わたりゆく　舟にゐて　およびさ指したり　友が家のあたり

○葛飾の　眞間の水田は春の雨　遠けぶりつゝ　海につゞけり

雛祭

○わが友は雛祭りする　祝ぎ酒に　たはけ踊りの手も酔ひにけり

レコード『平よいとこ』作詞者としての愚感
岡部夜椎

コロンビアレコード『平よいとこ』が市場に出てから彼此もう二週間になる。氣の早い平ッ子からは既に飽きられてゐるかもしれない頃作詞者として感想を書かせられるのは一寸心苦しい現在である

平町五丁目金光堂主から何か郷土民謡をレコーデングしたいが『盆踊り』は此の土地の代表的なものではあるが花時には適さないし拙作『平小唄』は著作權が平敎育會にあつて氣短かな大衆からは忘れかけられてゐるし、何か新作民謡を作詞されたいとの相談に應じたのは何んでも昨年の十二月だつた。そこで即答快諾するほど自惚れてもゐなかつたし、又實を申せば自信も無かつたので誰か適當な作者が他にあるだらう位で澄してゐた

ところが二月の末頃、新作民謡をコロンビアで發表する事にレコード組合で決定したから早速作詞せよとの事で四日ばかりの間に厚顔くも愚作『平よいとこ』をものした。先、僥倖で平小唄に當選し又妙な運命に『平よいとこ』をレコード歌詞として並に發表せざるの止むなきに到つた事は喜んで良いやら悲しんで良いやら目下の處私には解らない。

『平よいとこ』の歌詞を藝術的良心の稀薄な作品であると見る多數の人々の存在する事を私は知らぬでもない。けれどもある事情の悲にあんな作詞を公にせねばならなくなつた事は一度レコード歌詞の作詞を依頼せられた者のみが知る悩みである事を御諒察願ひ度い

あの歌詞の他に盂蘭盆の迎へ火のもとに若い男女が一夜踊り狂ふ情緒や、五月雨降る長橋の逢ふ瀬なども平名物として入れオミットする事の出來ないものではあつたのだが――。兎も角も、『平よいとこ』が平町の新民謠として平小唄と共に殘つて行く事は當町の厄介になつてゐる作詞者として光榮に思つてゐる

斷層

文藝茶話會提唱

○磐新に木曜文藝が生れたことはわれら地方文藝人にとりて誠によろこばしいことである。このことについては何といつても深い理解を以て努力せられてゐる柏木君　絶大な感謝をさゝげずにゐられない、この木曜文藝によつて地方文藝人が互に何等かの交渉・ちそれ〴〵の部門について研究制作を深めて行くことは誠にのぞましいことである

○こうした機會に私は文藝茶話會ともいふべき一つの集りをもつことを提唱したいと思ふ。このことについては高瀬君など〻以前から話し合つたことではあつたが、この際是非この集りを開きたいと思ふのである　一夕同好のものが集まつて或は詩歌を語り、俳句を論ずることもよいであらう。數奇があれば學究的な特殊の研究を發表するもよいであらう。そしてもし出來得れば近郊へハイキングなど試むることは尚一層深いことであらうと思はれる

○われらは餘りに人數の多きをのぞまない。そして素質的に深みのある人々をのぞましいのである。折角木曜文藝が生れた誠によき機會であるから、これを生かし、伸展するためにも何等かの形ちに於て、文藝人の集りをもちたいと念願するものである。―何生―

春のハイキングコース（2）
あなたはどこが一番好きですか
（到着順）

○山下幸賓子

春もそろ〳〵水邊が戀しくうすら照る日の夏井川改修土手のそゞろ歩きに魅力を感じます。試驗場の裏など絶好の景が展けてゐます

○小山田滋

沼内辨天池附近から豊間の回春園邊の海岸地一帯は小生の好きな處に候。殊に辨天池の八重櫻の盛り時分は一層魅力を感じ申候

○渡邊武門

ハイキング等望めぬ境遇なれ共出來得れば勿來の關跡に武人の雅懷をしのびそれより磯臭き九面街道を平潟八幡宮に詣で太平洋の潮風に頬をなぶらしたいと思ひます。（此のコース晩春より初夏にかけての方風情多かるべし）

○石橋柴子

其の日の氣の向いたまゝに目的地なんか決めずに歩いて行つて見たいと思ひます。麗かな海岸もよいでせう、雲雀の聲を聞きながら大館山附近のブラ〳〵歩きも好きです

○片寄耿二

水石山の草原に春のいぶきを滿喫します

○小濱牧泉

御間ひの意味を平を基點として推察して御答へします。先づ一瓢を携へて閼伽井嶽に登り藥師參拜の後見晴しの良い場所で凉を納れ直ちに合戸口から下山し好間川の清流に沿ふて下り途中山女など掬ふも良く大利から入つて高野の湯に疲れをはらつて内郷に拔け歸平する（以下十五行略）

○佐波古直貞

一番と云へば絶對的のものが唯一つの筈であるべきであるが、私は山と海との方面にコースを取つて見たいと思ひます

一、山なれば藤原川邊の溪流、大小幾多の瀑瀧を經て温泉嶽に登り春風に吹かれながら太平洋の紺碧の水天を眺める景色

一、海なれば勿來の海岸に渚波とたわむれ伊勢由關趾に四月の風光を滿喫し平潟港に春宵一刻を味覺する

○白木英尾

平――夏井川土堤――新舞子

木曜だより

○春のハイキングコースは本日で稿了とする考へであつたが、行數の關係上二三氏の分を來週へ繰越するやうになつてしまつた。ハイキングのシーズンは寧ろこれから新緑へかけていゝのだから、一般からも新コースの紹介を待望する

4月26日

△商法公布（明治二三）△和蘭ベーレンブロック内閣總辭職（昭和八）△獨逸國立銀行總裁外貨支拂不可能を聲明（同九）

その日〳〵

○木の芽が出たばかりなのに、山ほとゝぎすの聲も聞かれぬに、早くも初鰹のたより――。

小説　誰が殺したか（2）
國枝史郎作　龍造寺牖畫

第一の殺人（二）

青山は貴公子然としたスマートな青年だつた。ホームスパンの薄色のサックコートがぴたりと身について、ネクタイも舶來ものらしいいつも色の冴たものだつた　どの一點にも隙といふものゝない、そのまゝ一流洋服店のウヰンド・マネキンもつとまりさうな、磨きのかゝつたダンディだつた

とかく、そのやうにモダン氣取りの青年は、氣障つぽくて、すましこんで靴磨きの定吉などといふ人種には足を伸べたまゝ顏は知り合つてゐても、口はきゝたがらなかつた。しかしいつも愛相がよく靴の手入れをさせながら冗談や輕口の一つ二つはきつと叩いて、定吉と一緒に笑ひ合つた

掏摸與太者がダンディ振つた――そんな模造品的インチキは微塵もなく、どこか上流人のやうな深い氣品があつた

『育ちがよかつたに相違ない』

と、定吉は最初からふ[illegible]でゐた

ホールへ通ふ大勢の青年達の中でも、定吉は彼を一番に尊敬してゐた。少くとも一昨日まではさうであつた。その青山が、ものもあらうに掏摸だつたのだから初めて發見して、定吉がガンと殴られたやうに、びつくりしてしまつたのも無理はない

一昨日、矢張り青山が昇降機から出て來て、そこへまつてゐた人々が入れ代りに乗らうとして摺れ違ふ途端だつた

何の氣なしにひよいとあげた定吉の眼に、その素早い業の一件が斜横の位置からの關心であらうか、瞬間丸見えに見えてしまつた。それが昨日もさうだつたし今日も同じ場所で矢張りさうだつたか、ずつと前から毎日こゝであの早業が演じられてゐたのかと思ふと定吉はゾッと肌寒かつた

『この掏摸の畜生が、俺の蝶子を手に入れようとしてゐるのか、とんでもねえ』

と思ふと、今までうつかりしてゐた自分にむしろ腹が立つた。が、定吉には何といつても上客、そのことのあつた後もエナメル・キットを臺の上に載せられると惡い顏も出來なかつた

今までは青山を『俺の蝶子』には誂ひ向きのいゝ戀人だと定吉は秘かに祝福を捧げてゐたのだつた

『俺の蝶子の戀人となる資格のある者は、この男のほかにまたとあるものか』

が、それは今や、こしやんこであつた。定吉には人には云へない妙な一つの癖があつた。誰に許されたのでも頼まれたのでもないがダンサーの蝶子を『俺の蝶子』と思ひたがる癖だつた　それが彼の、ひそかな樂しみであり慰めであり、また誇りであつた

一年近く、こゝで靴みがきをしてゐるうちに、蝶子とは何故か暗默のうちに氣が合つたとでも云ふのか、特にどうしたといふのでもないが、定吉には他人とは思へなかつた。五十人もゐるダンサーの中で、顏をみるたびに優しく言葉をかけてくれるのは蝶子だけだつたが、それだけではなしに兩親がなく一人の弟に學校を仕込んでゐる美談的な彼女の境遇が、やはり定吉の場合とよく似通つてゐた點からの、同情と心安さからだつたかも知れない

靴臺を客がコト〳〵と叩いた。いつの間にか客が臺椅子の上に長々と乗つてゐる

『すみません』と立つたが客は默つて新聞を擴げてみてゐた。新聞は横文字で鼻眼鏡の鼻の高く尖つた外人だつた

春の洋服。レーンコートは　信用堂へ!!!

特賣中

背廣服（三ッ揃）	十一圓より
レーンコート	四圓より
バヽリー	二圓二十錢より
トレンチー	三圓より
女學生用レーンコート	五圓より

外に春物小供服など豊富に取揃へてありますから御散歩がてら店内を御覧下さい……。

平町三丁目一〇
信用堂洋服店

會津柳津虚空藏尊附近名所遊覧團体募集

期日　五月十一、十二日
會費　一金九圓五十錢也
但往復旅費自動車賃虚空藏尊護摩料（宿泊料共中食付）

▲募集締切五月八日限り

五月十一日　午前五時半平驛集合、同六時十五分平驛發車、同十一時五十二分若松着、自動車にて柳津護摩後飯盛山東山温泉一泊

十二日　東山温泉出發二九聯隊參觀、松髙宮御別邸翁島驛午後二時四十一分發車、同六時二十二分平驛着解散

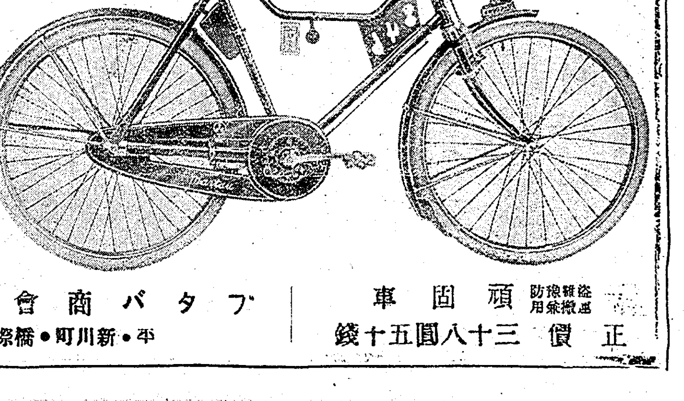
申込所　平町一丁目三十一番地
主催　東北商工時報社

精神病科　脳脊髄病科　神經病科
郡山市外大槻村針生
郡山驛より約三十丁　安積中學より約五丁
郡山腦病院　電話九二五番
院長　醫學士　金森五郎
入院随時

外科　X光線　專門科
入院随意（自炊の便あり）
平南町　上田醫院（電話一二九）
病室完備

石炭　一〇〇%サーヴヰス
暖氣ニ向ヒダンゼン値下げ
一等塊　正味五十斤入一俵　金貳拾八錢
特塊　同　同　金參拾五錢
品質が優良 目方が正確 デナケレバ 値段バカリ安クトモ結局高イモノニナリマス
此の點は當店を絶對に御信用願ひます。
市内ハ一俵ヨリ迅速ニ配達致シマス。
電話三七番
石炭　コークス炭　豆炭
阿部石炭商店

專門　耳鼻咽喉科
高柳耳鼻咽喉科醫院
平町驛前（電三三六）
醫學博士　高柳博明
（入院應需　自炊ノ便アリ）



頑固車　防盜難撥換用
正價三十八圓五十錢
フタバ商會　平・新川町・橋際

產科　婦人科　花柳病科
午前宅診　午後往診　入院應需
井坂醫院
平町田町（元合津醫院跡）電話五五九番

耳鼻咽喉科專門
病室完備　自炊ノ便アリ
平町田町（電六九一）
醫學士　山内亨吉
山内醫院

吸入用酸素　純度99%
度量衡　モノサシ　マス　ハカリ
計量器　体温器　寒暖計
◎秤ノ取替・修繕・檢査致シマス
關内藥局　電話□○番

診療科目
一、齒科一般
一、保存科、補綴科、繼續架工科　齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長　日本齒科醫學士　中野憲次
日本齒科醫學士　西川誠
平町田町（松月堂向ヒ）電話五〇九番

道路の整備に惠まれ 一層悅に入る大通り

凸字形に驛と繋ぐ鋪装完成後は 繁榮を之の圏内に集中か

地方稀に見る近代都市美を百%に價値づけた一丁目から四丁目に至る平町の鋪装道路は、良き程に間隔を置いて兩側に並ぶ鐵柱街燈と、街並に漸次其數を増しゆく立体的建築の介在によつて、部分的に之を観ると宛然所謂大都市の形態を備ふるものとして顧盼些か雄とするに足るもの無しとせぬに反し、本町通り中殘餘の區域はその反動的に或る種の不体裁を見せてゐたのが今年度事業として近く着工さるゝ許りか、大平町の玄關たる驛を中心として常磐銀行及マルトモに至る二線の重要道路も既報の如く相前後して起工される事となつたので平町に於ける殷賑の中心地は街並整然たる本町とマルトモ及銀行四辻起點や驛間の二線により本町通りを底邊として凸字形に連繋され町の心臓部は差當りこの邊に總動員さるるかたちである

老幼其他控除の 恩典に洩れるな

特別戸數割の申告に就て 町役場當局の注意

賦課の公平適正は勿論乍ら、何れの階級にも最も普遍的の税金として常に負擔の憂鬱を感ぜしめて居る特別税戸數割の決定に就て町では目下課税標準申告並控除の申請を受付け中であるが

一、四月一日現在納税義務者及納税義務者と生計を共にする同居者中六十歳以上（明治八年四月二日以前生れのもの）十四歳未滿（大正十年四月三日以後生れのもの）並に不具癈疾者（心神喪失の常況に在る者及聾者、瘂者、盲者其の他重大なる傷痍を受け又は不治の疾患に罹り常に介護を要するもの）

に該當する場合は夫々所定の所得額控除を受くる事が出來るが、申告期間たる今月三十日を經過すると折角の恩典に浴する事が出來ずさらでだに過重の負擔を受けねばならぬ事となるので、然るべく注意の上之の恩惠を取り逃さぬ様すべきであると役場當局の意見である

勳記章傳達

平町の四名へ

平町では左記事變功勞者の賞賜物件及徒軍記章傳達式いと[?]を二十七日午後一時から町會議事堂で擧行する

勳八等白色桐葉章、從軍記章（久保町大竹榮一、一丁目赤津重美）從軍記章（鎌田町高田清二）滿洲國建國功勞章（長橋町關內和平）

小名濱町會

明二十六日午前十時から開き左記諸件を附議

小名川改修工事 小名濱公園道路開設寄附金 水用堀井

郡小學校長會

來月四日午前十時より平第一校に開き左記を協議する

青年學校質問要項 教育部會總集會 縣下小學校長協議會提出問題を各方部で研究提出

石双戸籍會

平區裁判所管內（石城、双葉）の戸籍會は一昨二十三日から二日間第三小學校講堂で開かれたが出席約八十名事務上の檢討をなした

赤ちやん大會

來月四日と決定

來月初めの全國兒童愛護週間中平町で催す第一回赤ちやん大會は昨廿四日の關係團体協議會で來月四日午後一時から藤田女學校で開催する事に決定したが、參加資格者は昨報の如く一昨年四月三十日から昨年十月三十一日生れの平町在住者に限り平醫師會の審査で優良兒童には知事賞五名、町長賞十名、町長優良賞十五名を贈るべく參加希望者は來月三日迄役場に申込まれたいと

地方を潤す卅五萬圓

夏井仁井田兩川改修 指令を待つて直に着工

着工以來順調に進捗しつゝある夏井川改修工事の十年度工事費は二十四萬八千圓の外、同事務所管轄內にある仁井田川關係の十萬圓を併せ總額三十四萬八千圓の巨額に上つてゐるがこれが主なる改修區域は

（夏井川關係）平窪村上流左岸千米、右岸四百五十米、工費五萬五千圓、鎌田鐵橋上流右千米、左千百米、工費十一萬圓（以上積堤工事）平町—平窪間幕內木橋改修幅員三米延長百三十米、工費一萬二千圓、草野村六十枚橋架替幅員四米五十、延長二百三十二米、工費五萬五千圓、鎌田山開鑿幅員七米五十、延長六百五十米、工費一萬三千圓

工事中一萬三千圓を投じ行はれる鎌田山開鑿工事は本紙屢報の如く來年度に延期された鎌田橋（現地域より百間上流）架替、平—神谷間直通道開設の前提となるものであり、尙過般自動車事故により交通杜絶した六十枚橋も愈々來月中旬より着工の決定となつてゐる等地元待望の大工事が順次實現されるわけである

郷土の史的時事解説（二）

白水阿彌陀堂の第二回修理

本堂宇の特別保護建造物並に內賜安置五佛像國寶各指定に就て（谷）

勿來生

即ち白土信濃守藤原隆利（正中二乙丑五月十八日、同人外二名連署狀）〔岩城郡神社縁起〕○明治初年磐前縣廳纂に係るが、原書既に紛失してをり、斯る物が實在したか何うか信否固より不詳、姑らく假掲

彼の南北二朝頃の作と評定する太平記は、全部を正史と云ふことは出來ぬが、往々にして眞實を語り、當時の順逆、忠奸を曠古に知らしめる不朽の戰記である其の中に岩城、岩崎、高久（か）等の名が著見し、何れも高時に應じた賊黨であるが、此の內高久氏だけは、後ち同族と獨り離れて夙に歸順し、爾氏の反するや、靈山、湯本二城の守將廣橋經泰に屬し最後まで勤王を全了したであらう 先づ之を引くと

岩城次郎入道（元弘元年九月二日、笠置官軍攻撃の爲め、幕府討手軍中、其の侍大將、列に加はれる者）○泉流無盡（石川系圖の原題）相馬及び飯野文書等と合考すれば、正しく朝義に當る。岩城系圖に、常朝の子清胤の如く書くは時代甚だ遼ふ白河の結城上野入道道忠（名は宗廣）伊達入道（政長か）田村刑部大輔入道（清經か）と同代の人

岩崎彈正左衛門尉（同上）○現存の太平記には、總べて尉の下に『高久』と附け、下文を『同孫三郎、同彦三郎』（次條を見よ）とあつて、宛、岩崎の實名にて、下の『同』は即ち岩崎を代略せるものと見做し、高久は岩城系圖に云ふ隆久で、下の者は其の子、若しくは一族の孫三郎（名不記）、彦三（同）と定説するが、按ふに之が古寫本既に孫三郎の上の同の字が一字衍の誤りを、孰れにも書き傳へたと想ふに足り、岩崎の名としたのであらう。畢竟右の岩崎彈正左衛門尉は既出の飯野（岩城、岩崎に各同名あれど、後者なり）及び鯨岡文書等に云ふ隆衡であらう。否らねば楢葉郡八立村に隱退して、尙ほ當地頭を兼ねた岩城次郎入道願眞か

○……○……

平町宵の盛り場 廿三夜堂遷座式

來月下旬盛大に擧行

新裝成つた平町十五丁目二十三夜尊の遷座式は來月二十五、六の兩日盛大に執行されるが二十五日には稚兒行列ある筈

結核豫防宣傳

清潔法執行日割

平署管內衛生主任會は昨二十四日開き來る二十七日の結核豫防デーに際しては管內に立看板、宣傳ビラ等で大宣傳を左の日割で清潔法を執行する事に決定した

神谷六日 夏井二日 飯野三日 高久四日 內郷御厩十八日 同綴十九日 磐炭宮十二日 高坂五日 白水方面炭礦綴十九日 湯本三日 磐崎四日 玉川三日 小名濱五日 鹿島七日 江名四日 豐間二日 平窪四日 小川二日 夏井七日 好間一日 小田、古河炭礦十二日 平町東部十一日 同西部十二日 澤渡八日 三阪九日 永戸六日 箕輪五日

兵事主任會

・・・・・ 平署管內兵事主任會は來月六日午前九時から同署會議室に開き永年勤續者表彰、幹事改選、指示、協議を行ふ

豫定の如く併合して

平、小名濱兩町都計區域愈々決定 昨日內務省告示で發表

昨二十四日內務省告示を以て左の通り告示された

都市計劃法第二條第二項の規定により左の區域を以て平都市計劃區域とす

福島縣石城郡平町、飯野村の一部（大字北白土、谷川瀬）內郷村の一部（大字御厩、御臺境、小島）好間村の一部（大字下好間、愛谷、今新田、川中子）平窪村の一部（大字下平窪、中鹽、四波、幕內、鯨岡、大室）神谷村の一部（大字鹽、鎌田）

都市計劃法第二條第二項の規定により左の區域を以て小名濱都市計劃區域とす

福島縣石城郡小名濱町、泉村の一部（大字瀧尻）玉川村の一部（大字南富岡、大原、岡小名）江名町の一部（大字下神白）

負傷雜夫が要求の 一割提供で手打ち

見舞金名儀で贈る

既報—勿來町大字酒井字出藏二〇居住新潟縣中蒲原郡小須戸町水田生れ鈴木枝吉（五二）が同町大日本炭礦會社勿來坑雜役夫として雇はれ昨年五月二十五日午後四時半頃同前山斜坑採炭現場に於て電燈なくカンテラの薄灯りで排水管運搬作業中取り落した鐵管の爲右示指に負傷し以後同坑醫務室で手當を受けたが遂に不具となつたのは會社の設備不完全と治療の不充分が原因であると平町門傳辯護士を代理人として會社及び小林囑託醫を相手どり平支部に提起した損害賠償二千二百圓九十錢（內譯慰藉料五百圓、損失千七百圓九十錢）請求事件は訴訟上救助附與を受け、會社側も囑託辯護士東京横田、阿部、横山三氏を代理人として繫爭中であつたが今二十五日の口頭辯論に於て會社より規則による扶助料を含み見舞金の名目で百三十五圓、小林醫師から見舞金として三十圓を出すことに話しが纏まつた

小名川に老婆の死体

錯亂者の入水と判明

去る二十一日午後五時頃小名濱町古港海岸より約二十間を隔る小名川沿岸に老婆の死体あるを通行人が發見平署で檢視の結果右は同町舟引場二一坂巻キチ（六二）で數年來の精神病者で前夜無斷家出をなし同海岸に投身自殺した事判明朝になつて家人が同人の寢室を見るとさも寢てゐるやうにかけ布團を盛り上げてあつたと

名刀四振の行衛？

賣却を賴んで戻らず 相手を詐欺で告訴

平町月見町三三蹄鐵業大塚欣一郎（四〇）は此程四倉町仲田八五古物商鯨岡龍男（三五）を四倉署に詐欺の告訴をした、欣一郎の話によれば顏見知りの龍男が去る二月二十五日來訪、よい値で賣つてやるからと欣一郎の刀劍四振（井上眞改作、水心子正秀作、外無銘二振）（價格百三十五圓）をあづかつた儘返さず小高方面の質屋に入質したか或は他に賣却したと云ふ噂もあるので平署では今二十五日四倉署の照會により欣一郎を呼び出し實情を取調べた

磐新誤叱府

聞いた丈ではお公卿さまみたよな名前だが會つて見ると野趣横溢？の好男子、といはれる新平第二校長千葉右近氏は磐中第九回卒業の土地つ子で伊達保原よりの轉任は今回縣下異動中榮轉の白眉と噂されてゐるが、當人に云はせると彼方では教育部會長、男子聯合青年團長、女子同、等々の仕事があつて收入が多かつたが、今度はないので收入が十五圓減つた、尤も內職がないとさつばりしてい〻けれど——は夫れ相應に理屈はあるもの

小學關係行事豫定

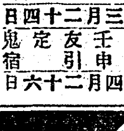
本年度郡內小學校關係教育行事は此程左の如く豫定された

（五月）四日郡內小學校長協議會、八日縣主催青年學校合同協議會（六月）中旬縣下小學校長協議會 同縣教育會總會（七月）下旬郡內教員野球大會、（八月）中旬郡內中堅青年講習會、下旬夏季講習會 同郡內教員庭球大會、廿一日迄壯丁檢査（九月）上旬郡下聯合青年團体育大會、下旬實業教育振興會（十月）中旬郡內兒童競技會（十一月）中旬郡教育部會總集會、同東部聯合教育會於双葉郡、下旬郡內兒童唱歌會、同郡內青年學校聯合會（十二月）上旬郡內教育籠球大會（一月）郡內女教員會 同郡內教務主任會（二月）中旬郡內小學校長協議會、下旬郡聯合女子青年團總會

女房何處？

茨城縣西茨城郡笠間町小薬タツ（三五）は去る十九日夜家出翌二十日友部驛より平迄の切符を買つて乘車したので今二十五日夫可より平署に搜索願

・・・・・ 平町役場吏員觀櫻 今二十五日午後四時半から松ヶ岡公園に開いた



舊三月二十四日 金曜 壬申 友引 定 鬼宿 新四月二十六日

諸判定應需 東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

▲一白の人 平和の眞面目は此日を守る中一の心情たり▲二黑の人 物事を輕く見る時は意外の失敗を招く日▲三碧の人 手紙書付等人の手に殘るものには注意の日▲四綠の人 枝葉に捉はれず大體を守りて過ぐべき日▲五黃の人 自力本意を以て押らぬとも然らず通るべし▲六白の人 目に見えても手に取れず大望を起せば失敗▲七赤の人 一波去れば一波又追ひ來る焦るは破れの基▲八白の人 飾り氣を去り地味に働くべき日外出は注意▲九紫の人 生き生きしたる元氣となり働き甲斐ある日

二十六日（小名濱測候所調査）

日出 四、五二 月出前 〇、二九
日沒 六、一八 月沒前 一〇、四九
滿潮 前 七、二〇 後 一一、五〇
干潮 前 二、〇五 後 三、五〇

廣告

發電機 …試驗機完備… マグネットチアージ 蓄電池 コイル モーター 一般電機捲替並修理
久野電氣工業所 平町紺屋町五三 （呼電）三六六番

吉田眼科病院

流線型入車
御待ち兼ねの卅九年式流線型第一車が入車致しました。是非御試乘をお願ひ致します。
電話六四〇番 尼子タクシー

二十四日より博覽會の最終的奉仕
…市民デー…
博覽會と演藝館共通十錢
博覽會は諸費用を省き之を以て閉會式に替へます、演藝館は斬新なる大魔術を加へて御覽に入れます。

皆樣!!!のアサヒ寫眞館が生れました
記念撮影は貴方の…アサヒ館へ!!
キツト御氣に召す事と存じます…。夜も晝も變りなく撮影いたします……。
奉仕型（五枚）金五十錢
美麗シオリ付（四枚）金五十錢
現像、燒付、引伸…寫眞一般
アサヒ寫眞館 田町

銘木ト建築木材ノ御用命ハ今一番勉强スル當店ヘ
內外銘木 建築材一式 便利瓦
平町紺屋町 織田材木商店 電話四六〇番
極優良材碁將棋盤アリ格安讓リタシ。

御會葬御禮
昭和十年四月二十五日
平町長橋町 小野園次郎 外親戚一同